



【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

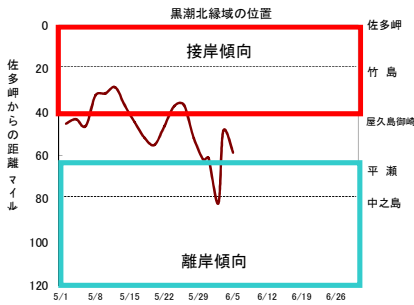
黒潮北縁域は、6月5日現在、平瀬の北5.3マイル付近にある。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、6月4日現在、45マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して竹島、屋久島御崎で1.0～1.7℃降温し、笠利崎で変わらず、その他の海域で0.1～1.2℃昇温した。平年比較では、甌海峡で“著しく高め”、黒潮流域、鹿児島、中之島で“かなり高め”、笠利崎、与路島で“やや高め”、屋久島御崎で“やや低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	27.2	+1.0	+0.9	かなり高め
鹿児島	23.5	+0.7	+1.4	かなり高め
佐多岬	23.0	+0.6	+0.6	平年並
竹島	23.4	-1.7	-0.0	平年並
屋久島御崎	23.4	-1.0	-1.1	やや低め
中之島	26.6	+1.2	+0.8	かなり高め
笠利崎	25.4	+0.0	+0.8	やや高め
与路島	24.9	+0.1	+0.5	やや高め
与論	25.0	+0.6	+0.3	平年並
甌海峡	24.1	+1.2	+1.9	著しく高め

鹿児島一那覇定期客船観測は6/5-6
串木野一鹿児島定期客船観測は6/5

【漁況】

○定置網

甌島海域では、週計でマサバ(300～800g)が1.8トン、ブリ(3～5kg)が1.7トン、シラ(1～4kg)が600kgの入網。西薩南部海域では、シラ(2～3kg)が100～500kg/日、ヒラソウダ(1kg)が200kg/日、スマ(1.5kg)が1日のみ200kgの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、シラ(3～5kg)が0.7～1.5トン/日、ハガツオ(1.6kg)が240～640kg/日、ゴマサバ(500～600g)が1日のみ1.5トンの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でハガツオ(1.5～2kg)が2.8トン、イサキ(200～500g)が2.1トン、カンパチ(2.5～4kg)が310kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で50統がシラ、マジノ小、ウルメイワシ主体に38トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイワシ、マジノ、サワラ主体に6.2トンの入網。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中ヒを20箱/統・日、小ヒを50～70箱/統・日の漁。屋久島海域では、中ヒを12～14箱/統・日、セトヒを33～44箱/統・日、青ヒを8～10箱/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ羊釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2759報)

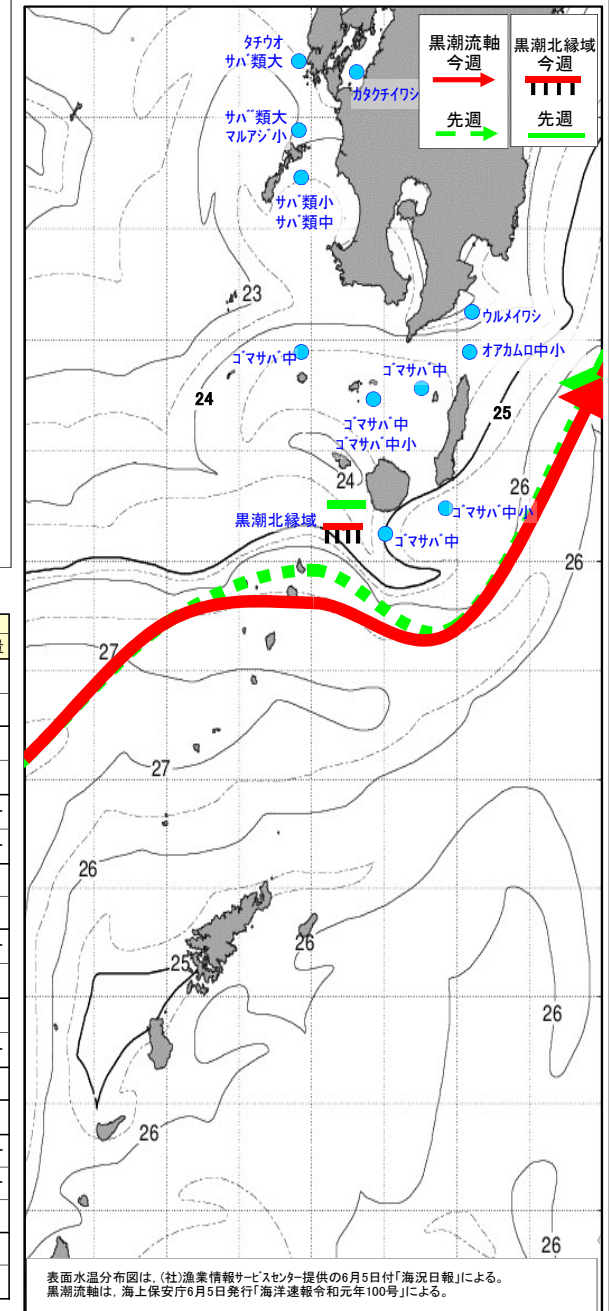
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週	前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	3	15	天草沖 縄瀬	4.9	4	61	8	184
		中	26	211	長島 甌東	8.1	20	167	25	201
	枕崎	大	10	205	種子島北 馬毛島 屋久島南 種子島南 屋久島南 黒島 竹島	20.5	4	86	4	79
		中	21	391	種子島北 馬毛島 屋久島南 種子島南 屋久島南 黒島 竹島	18.6	9	141	14	214
	内之浦	中	1	7	内之浦沖	7.1	0	0	0	0
	山川	中	0	—	—	—	0	0	0	0
計	大	13	220	—	16.9	7	132	12	262	
	中	48	608	—	12.7	29	308	39	414	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	0	0	0	0	
	枕崎	0	—	—	—	0	0	1	97	
棒受網	阿久根	73	77	阿久根沖 長島	1.1	21	17	62	109	
	内之浦	2	12	内之浦沖	5.9	0	0	0	0	
定置網	内之浦	50	38	—	47	47	36	51		
刺網	阿久根	110	36	甌 阿久根沖 長島	0.3	110	30	121	19	
カツオ羊釣	枕崎	大	0	—	—	0	0	0	0	
		小	0	—	—	0	0	0	0	
	海旋	2	1850	—	924.8	2	1229	2	1015	
	海外旋網	山川	中	1	4	—	3.8	2	6	7
	海旋	1	807	—	806.9	1	1058	1	785	

○キビナゴ刺網

甌島海域では、11～23箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、5～30箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計で38箱の漁。

○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(1kg)を11～50kg/隻・日の漁。かごでサバ(200～300g)を300～450kg/隻・日の漁。一本釣りでイサキ(500g)を5～50kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを50～200kg/隻・日の漁。刺網でシロキス(40～90g)を7～23kg/隻・日の漁。一本釣りでイサキ(200～500g)を10～30kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、潜水器でトサカリを4トン/日の漁。曳縄でハガツオ(1.5～2kg)を週計で100kgの漁。一本釣りでゴマサバ(700～800g)を週計で100kgの漁。志布志湾海域では、かごでハイを10kg/隻・日の漁。熊毛海域では、曳縄でハガツオ(2～3kg)を20～30尾/隻・日の漁。一本釣りでゴマサバ(500～600g)を40尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの10～14日操業でソテエ(胴体のみ12kg)を80ハイ/隻の漁。一本釣りの日帰り操業でナンヨウキンメ(1～1.5kg)を15尾/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の6月5日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁6月5日発行「海洋通報令和元年100号」による。